

光と陰を慈しむ暮らし

体のリズムが太陽や照明の光と連動するように、

光と影のバランスは、

快適な暮らしに欠くことのできない要素です。

本当の心地良さは明るさだけでなく、

陰影にも宿るということを伝える住まいです。

No 09

Model House Report

Builder /

小山木材

Note /

Like a hotel

モデルハウス

長野市松代

Picture Window

ダイニングキッチンのパictureウィンドー。一枚の絵画のように
庭を切り取るワイドな開口が、視線を奥へと導く。



Garden

左官材仕上げの外壁は、季節で姿を変える樹木や草花のシルエットを映し出すキャンパスに。しっとりとしたアプローチや坪庭も、目を楽しませる。

Living

「囲まれる心地良さ」を教える静謐なリビングは、明るいダイニングとは異なり、こもるような安心感を得られる居場所。トップライトと庭に面した窓からの柔らかな光が、時間の移ろいを伝える。



Living & Dining

庭を囲むようにしてリビングとダイニングを配置した。時間や場所によって刻々と変化する庭の表情が、日常に四季折々の彩りを添える。





Facade

伸びやかに枝葉を広げる高木が、シンプルでモダンな外観に美しい影を落とす。夕暮れに照明を灯せば、家路につく人を温かく迎える。

KOYAMA® Like a hotel
MOKUZAI PRODUCED BY KOYAMA MOKUZAI

小山木材株式会社
〒381-1231 長野市松代町松代155 TEL 026-278-2216

Access Map



光をデザインすることは、陰と影を意識すること。対極の存在が住まいを豊かに

住まいにおいて、光と陰が心と体にどのように作用するか。その答えを教えてくれるのが、長野・松代を拠点とする工務店、小山木材のプロジェクト「Like a hotel」のモデルハウスです。

「静謐さを纏う庭園邸宅」をコンセプトに掲げるプロジェクト構想を体現したこのモデルハウス。その空間が表現するのは、非日常感がほどよく同居した上質な空気です。

設計は、静謐な空間づくりに定評のある建築家の深山知予さんが手がけ、さらに造園家や家具職人といった各分野のプロフェッショナルを迎えて、小山木材の高い施工技術によって完成しました。

深山さんは、人が本能的に感じる心地よさを建築に落とし込むことを重視しています。その一つが「光への意識」です。たとえば人は暗い所よりも明

るい方へ視線を向ける習性があることから、玄関はあえて光を絞り、正面に続くダイニングには南向きの大きな窓を設けています。こうすることで視線が先へと抜け、空間がより伸びやかに感じられるのです。

また一日の始まりを告げる朝の光を大切に考え、キッチンには東向きの特ブライトを設計しました。採光はもちろんのこと、「光が上から注ぐことで自然と顔が上に向く。すると毎朝、前向きな気持ちになれるでしょう？」と深山さん。光が人の心に大きく作用することを実感させる言葉です。

明るいダイニングと対照的にリビングは光を絞り、傾斜する天井とトップライトからの光で落ち着ける空間としました。私たちの祖先が洞窟で暮らし始めたことから分かるように、人は壁や天井で囲まれることで本能的に安心できるものです。壁に囲まれた造作ベンチに腰かけ、明るい庭を眺めるひと時が安らぎを生み出します。

光と陰影のバランスを整えることで、非日常的な空気をまと

いながら誰もが心地いと思えるホテルのような住まいを実現する――。

小山木材は、深山さんのそうした設計思想に深く共鳴し、創業から60年超の歴史の中で培った経験と熟練の技術によって、その想いを具体的な形にしました。

良質な木材を適材適所に使った心地いい空間は、材木屋をルーツとする小山木材だからこそ。さらに職人の高度な技術が、時間によって印象的な陰影を描く建具や窓のエッジといったディテールまで、美しく仕上げています。

左官材、タイル、天然石など同社の選り抜いた本物の素材と職人の優れた技術が融合し、光と陰によって多彩な表情を見せる、質感豊かな住まいが完成しました。

木をはじめとする素材と手仕事にこだわり、経験と熟練の技でつくり上げた木の家で慈しむ、光と陰影。

高いデザイン力と堅実な施工技術が重なり合うことで、心豊かな空間が生まれ、暮らす喜びをいっそう広げてくれることでしょう。